

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7170

件 名	門沢橋小学校受変電設備更新工事	
履行場所	海老名市門沢橋一丁目 19 番 1 号	
工 期	令和 7 年 11 月 5 日～令和 8 年 9 月 11 日(311 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○複数年契約 ○入札は期間全体の税抜金額 ○令和7年度の支払いはありません。	
予定価格	20,647,000 円 (税込)	18,770,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	080 電気 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額 が5千万円（建築一式工事の場合は 8千万円）以上となる場合には特定 建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技 術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認し てください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業 実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入している こと。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり （第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の 兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・ 一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入してい ることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び 労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保 険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウ ンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が 提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をF A Xで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 <u>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び 保険者番号（3箇所）にマスキング（黒塗り）をして提出してください。</u>		

門沢橋小学校受変電設備更新工事仕様書

1 履行場所

門沢橋小学校：海老名市門沢橋一丁目 19 番1号

2 履行期間

令和7年 11 月 5 日から令和8年9月 11 日まで

3 業務概要

門沢橋小学校の老朽化した受変電設備を更新するため、調査検討業務を行ったうえで受変電設備を撤去・新設するものである。

(1) 調査・検討業務内容

門沢橋小学校の受変電設備の設置状況及び使用状況を調査し、適切な更新受変電設備を検討するものである。併せて、現場施工をする上で必要な検討も行う。

ア 調査・検討業務提出書類

①調査日程表	1部	契約後速やかに提出のこと
②調査結果資料	1部	現場調査結果(設置状況・使用状況等)
③受変電設備検討資料 (容量計算書作成)	1部	(例) 電灯設備負荷容量集計表、動力設備負荷表及び容量集計表、変圧器容量計算書、力率改善用コンデンサ容量計算書等
④納入仕様書	1部	受変電設備、耐震施工計算書等
⑤施工検討資料	1式	施工計画書、施工体制報告書等
⑥委託業務完了届	1部	
⑦本業務にかかる内訳書	1部	調査検討業務費及び工事費
⑧議事録	1式	その都度

※原則、提出書類は紙とし、工事提出書類に綴じること。

イ 調査・検討業務期間

令和 7 年 11 月 5 日から委託業務完了届受理日まで

ウ 調査・検討業務担当者

調査・検討業務期間中は、請負工事現場代理人等選任届に記載される現場代理人を業務主任者とし、主任技術者等を管理技術者とする。ただし、別に担当者を選任する場合は、委託業務主任者等選任届を提出すること

(2) 工事内容

敷地内停電日を関係者と調整し、既存受変電設備を撤去し、新設するものである。

ア 工事期間

委託業務完了届受理日から令和8年9月 11 日まで

イ 内容説明事項書

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	☐ 補助事業 ☒ 市単事業		
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	☒ 市担当者 ☐ 外部委託者		
(3)工程関係			
①履行期間内の施設利用	☒ 有 ☐ 無		安全対策を施し、児童その他関係者の安全確保を図ること
②履行時期及び時間の制限	☒ 有 ☐ 無	学校の夏休み期間とする	
③協議未成立事項	☐ 有 ☒ 無		
(4)仮設関係			
①仮設計画	☐ 有 ☒ 無		受注者において作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること
②交通誘導員	☐ 有 ☒ 無		
③工事用電力、水の利用	☐ 有 ☒ 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	☐ 有 ☒ 無		
(5)支給品			
①支給品について	☐ 有 ☒ 無		
(6)建設副産物関係			
①建設発生土	☐ 有 ☒ 無		
②建設副産物、建設廃棄物	☒ 有 ☐ 無		
③その他(特別産業廃棄物等)	☐ 有 ☒ 無		
(7)使用制限			
①使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	☒ 有 ☐ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること(F☆☆☆☆使用)
(8)現場対応			
①公衆災害	本業務における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民等とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
②原形復旧	業務範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、業務後は原形に復すること		
(9)その他			
①適用基準等	☒ 「海老名市公共工事共通事項書」1、適用図書による		
②提出書類	☒ 「工事提出書類チェックリスト」による (調査・検討業務提出書類は、9 工事打合せ簿 に添付すること)		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	☒ 受注者は法定外労働災害補償制度(法定外の労災保険)に加入するよう努めること		

4 その他特記事項

- (1) 調査・検討業務を含めた工事発注であることから、検討前段階の積算として、変圧器容量は既存設備よりワンランク大きいものを想定し、契約金額の増額は、市長が認めた場合以外には行わないので、契約金額の範囲で行うこと。また、受変電設備更新時必要となる基礎等改修が必要な場合も契約金額の範囲で行うこと。ただし、発注者が別途追加したものについては、この限りでない。
- (2) 業務の円滑な推進を前提に、常に密接な連絡を取り、定められた期間内に業務を完了すること。
- (3) 業務の遂行上必要な資料で、市側が所有するものは原則貸与し、業務完了と同時に返却すること。
- (4) 業務の遂行上知り得た情報については、守秘義務を厳守することはもとより、公共事業という認識と責務を果たすこと。
- (5) 本業務の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
- (6) 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと。
- (7) 仕様書等に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編, 最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編, 最新版)」「(以下「標準仕様書」という。)同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編, 最新版)」「(以下「標準図」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(最新版)」による。
- (8) 委託業務完了届提出後に、工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出すること。
- (9) 工事实績情報の登録は、委託業務完了届提出後、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出すること。
- (10) 施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に連絡するとともに、「事故報告書」(任意様式)を別に指示する期日までに監督職員に提出すること。
- (11) 耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」(建設省住宅局建築指導課監修)による。本工事の施設分類は(特定の施設)で地域係数は1とし、設計用標準水平震度は1.0とする。
- (12) 各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。
- (13) 本業務は令和7年度・8年度の債務負担行為事業である。
- (14) その他詳細及び疑義がある場合は協議による。

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観 ③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境 ②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境 ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系 ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系 ③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土 ②コンクリートガラ ③アスファルトガラ ④伐採材 ⑤まだ使用可能な製品 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず ⑦不要木材 ⑧PCB等の毒性物質 ⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動 ②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 ②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断 ③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境 ④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性 ⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

□ 設計・施工時に配慮する事項

7. 電気設備工事

作業	配慮事項	環境要素
電気設備	省エネ型機器を採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	P C B等の適切な管理・処分を行う。	2-(5)-⑧
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和7・8年度

数量書

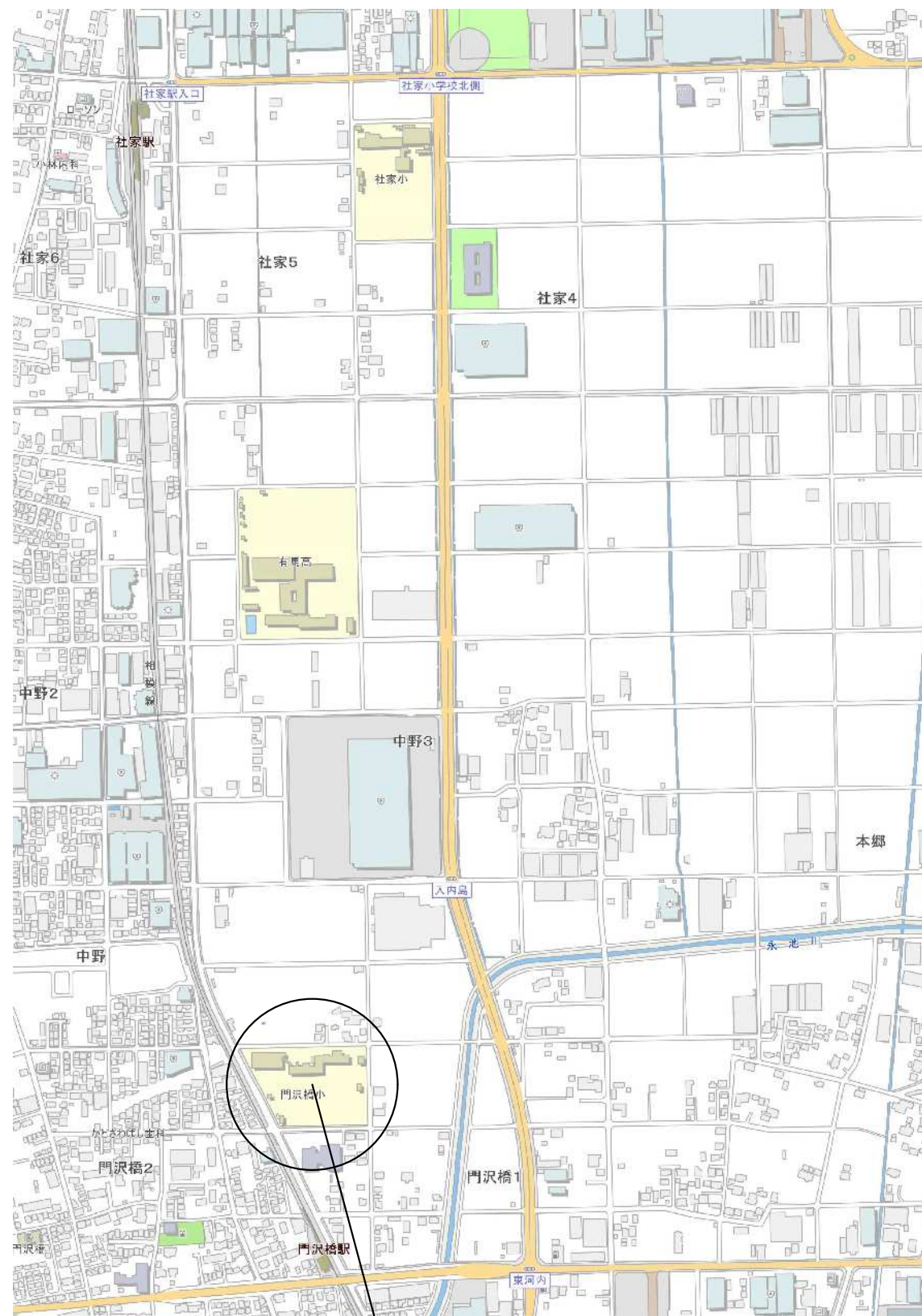
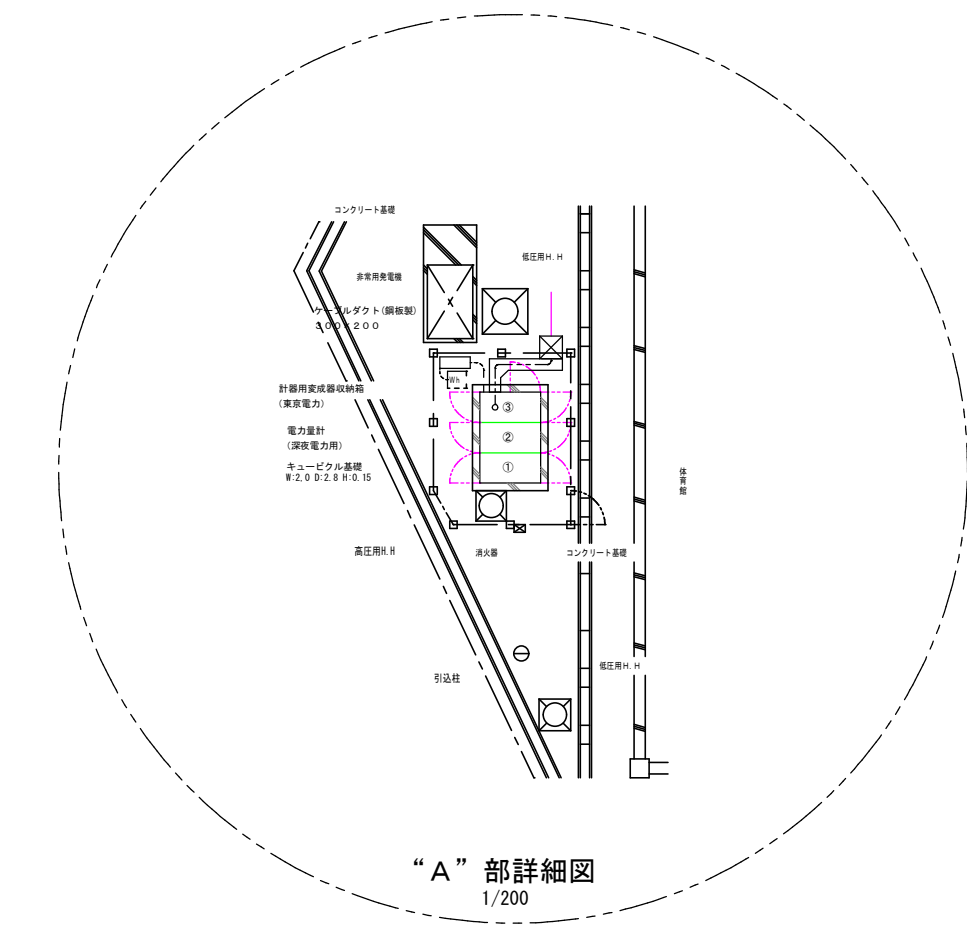
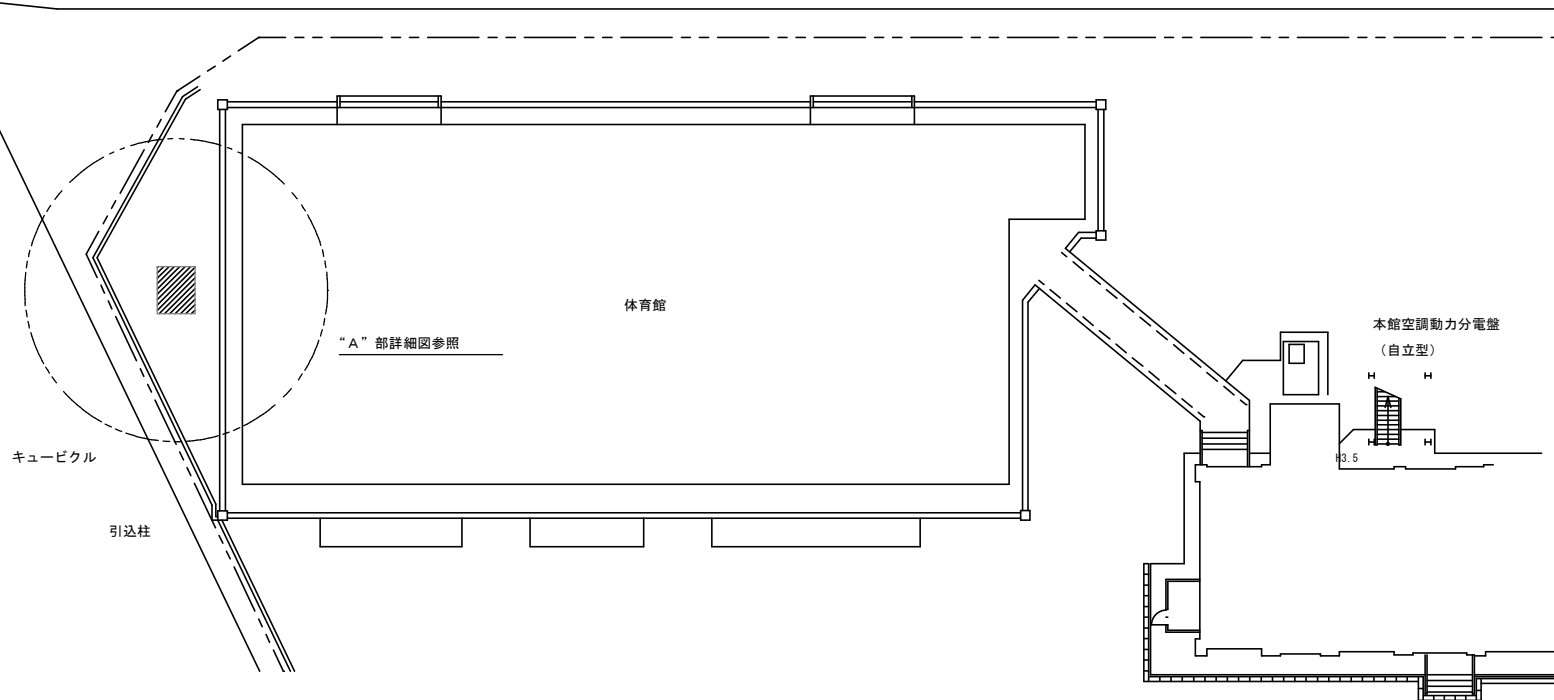
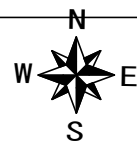
件名	門沢橋小学校受変電設備更新工事
履行場所	海老名市門沢橋一丁目19番1号
履行期間	令和7年11月5日から令和8年9月11日まで (工事予定期間 令和8年7月13日から令和8年8月31日まで 1.6カ月)
設計金額	<u>金 円也</u>
業務概要	【調査・検討業務】 既存設備の設置状況及び使用状況を調査し、 適切な更新設備を検討するもの 【工事概要】 門沢橋小学校の受変電設備を更新するもの
備考	

内 訳 明 細 書

名 称	数 量	単 位	単 価	備 考
直 接 工 事 費				
電 気 設 備 工 事	1	式		
計				
共 通 費				
共 通 仮 設 費	1	式		調査・検討業務含む
現 場 管 理 費	1	式		
一 般 管 理 費 等	1	式		
計				
工 事 価 格	1	式		
消 費 税 相 当 額	1	式		消費税率 10 %
合 計	1	式		

内 訳 明 細 書

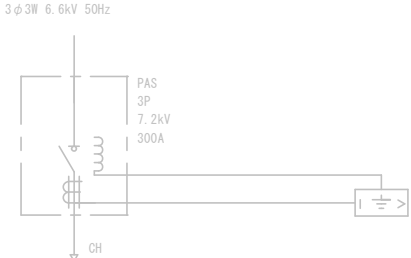
電 気 設 備 工 事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【積上共通仮設費】						
事前調査業務	既存情報収集 (電力会社デマンド 値・既存図面確認)	1	式			
調査業務	現場調査	1	式			
事前検討業務	容量計算書作成	1	式			
検討業務	製作図検討及び調査検 討業務調整	1	式			
合 計						
【直接工事費 】						
受変電設備		1	式			
搬入費		1	式			
搬出費		1	式			
撤去費	既存幹線取外し・再取 付含む	1	式			
発生材処分費		1	式			
収集運搬費		1	式			
合 計						



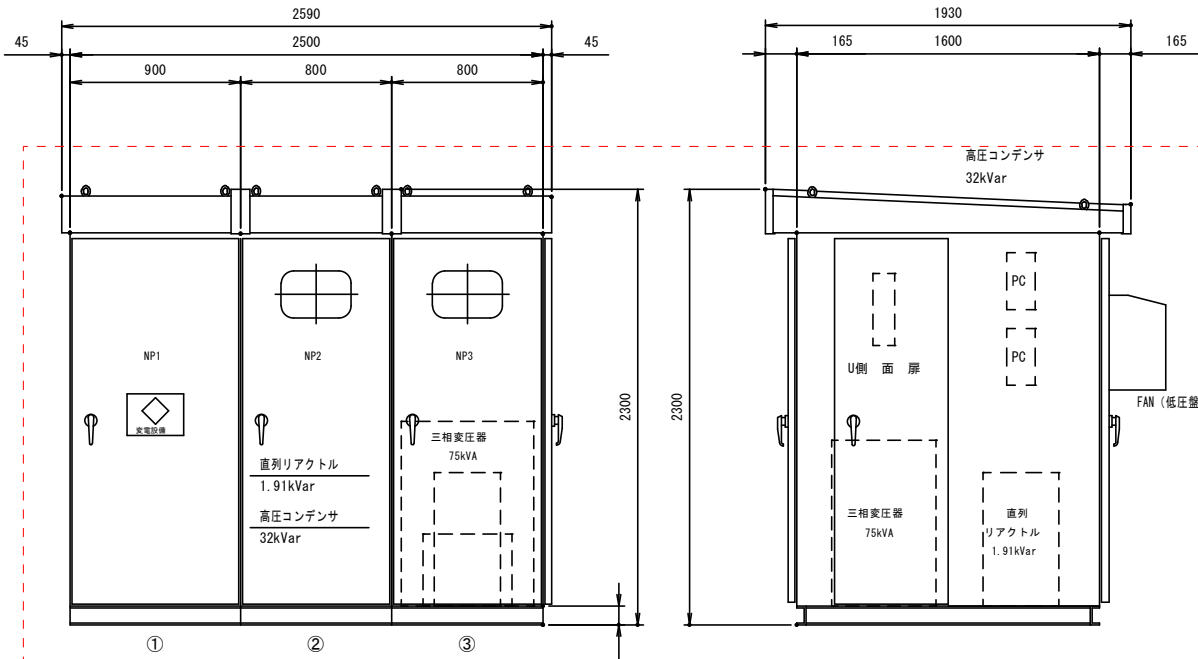
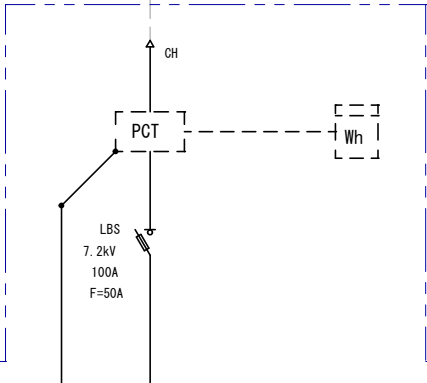
工事箇所：門沢橋小学校
住所：海老名市門沢橋一丁目19番1号

u凡 例

記号	名称	記号	名称
A	電 流 計	PT	計器用変圧器
AS	電流計切換スイッチ	SC	高圧進相コンデンサ
CH	ケーブルヘッド	SR	直列リアクトル
CT	変 流 器	TC	引きはずしコイル
CTT	CT用試験端子	TH	温 度 計
DS	断 路 器	V	電 圧 計
F	ヒューズ	VCB	真空遮断器
LA	避 雷 器	VS	電圧計切換スイッチ
LBS	高圧交流負荷開閉器	W	電 力 計
MCCB	配線用遮断器	Wh	電 力 量 計
PAS	柱上気中開閉器	ZCT	零相変流器
PC	高圧カットアウト		力率計
PCT	計器用変圧変流器		過電流継電器
PF	電力ヒューズ		地絡方向継電器



更新範囲



更新範囲

キュービクル外形図 S = 1 : 3 0

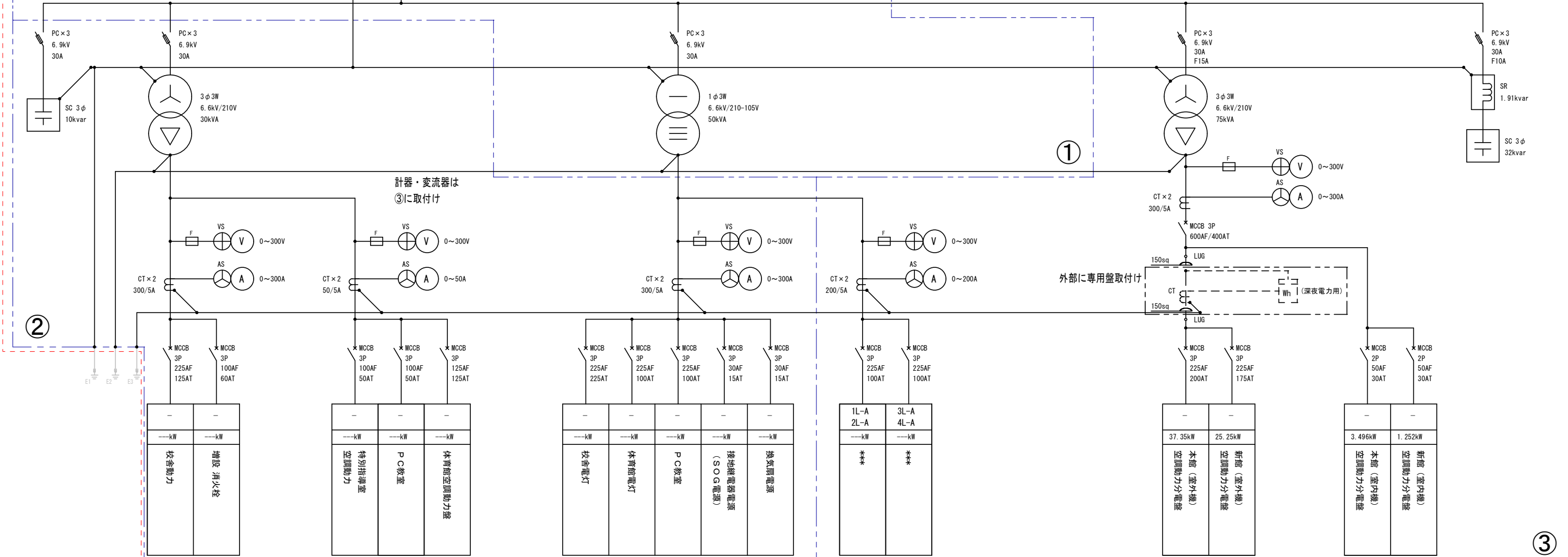
Uキュービクル盤一覧表

番号	名 称	備 考
①	高圧盤	(単相変圧器収納)
②	低圧盤 1	(三相変圧器収納)
③	低圧盤 2	(三相変圧器収納)

注 記

・盤内機器配置は参考とする。

更新低圧盤 2



③

電灯設備負荷容量集計表

[illegible]

動力設備負荷表

[illegible]

動力設備負荷容量集計表

[illegible]

備考 夏期・冬期負荷容量の合計の記載は右による。

上	段
下	段

上段：負荷容量
下段：上段のうちインバータ運転負荷容量

変圧器容量計算書											
変圧器名称	負 荷 種 別	負荷容量 [kVA]	補正係数	補正負荷容量 [kVA]	変圧器名称	区分	負 荷 種 別	負荷容量 [kVA]	補正係数	補正負荷容量 [kVA]	
	照明	ΣL		$f_1 =$		夏 期 負 荷	冷凍機等				
	FCU・OA負荷以外のコンセント	ΣC		$f_2 =$			パッケージ形空調機				
	FCUコンセント	$\Sigma F C$		$f_3 =$			エレベーター				
	OA負荷コンセント	$\Sigma O A$		$f_4 =$			小 計	$\Sigma P a$		$f_5 =$	
							空調関係	$\Sigma P b$	$f_6 =$		
							衛生関係	$\Sigma P c$	$f_7 =$		
				合 計 (T_L)							
	照明	ΣL		$f_1 =$			冬 期 負 荷	冷凍機等			
	FCU・OA負荷以外のコンセント	ΣC		$f_2 =$				パッケージ形空調機			
	FCUコンセント	$\Sigma F C$		$f_3 =$				エレベーター			
	OA負荷コンセント	$\Sigma O A$		$f_4 =$				小 計	$\Sigma P a$		$f_5 =$
								空調関係	$\Sigma P b$	$f_6 =$	
								衛生関係	$\Sigma P c$	$f_7 =$	
				合 計 (T_L)							
	照明	ΣL		$f_1 =$							
	FCU・OA負荷以外のコンセント	ΣC		$f_2 =$							
	FCUコンセント	$\Sigma F C$		$f_3 =$							
	OA負荷コンセント	$\Sigma O A$		$f_4 =$							
				合 計 (T_L)							
備考 (1) 三相負荷容量の記載は 右による。 上段 下段 上段：負荷容量又は補正負荷容量 下段：上段のうちインバータ運転負荷容量又はインバータ運転補正負荷容量 (2) ΣL, ΣC, $\Sigma F C$, $\Sigma O A$には予備を含まない。 (3) 補正負荷容量＝負荷容量・補正係数 (4) 三相負荷補正係数 $f_5 \sim f_7$ は、上段：負荷容量に対する値を採用する。											

力率改善用コンデンサ容量計算書

[illegible]